

第3回 防府市農福連携検討会議 (R4.5.24)

1 前回会議での委員意見及び事務局案

委員意見	事務局(案)
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事業所と農業者を繋げ、ニーズを調整する場がないとマッチングが機能しないのではないか。 ・双方のニーズをマッチングする場や媒体が必要であり、JAで提供できるとよい。 ・マッチングするコーディネーターは必要だが、農業と福祉、双方の事情に精通していなければならない。それぞれで合致させながら、マッチングしていくのが現実的ではないか。 ・福祉事業所に農作業のノウハウがない、どこに相談すればよいかも分からない。相談や情報共有ができる場があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JAを中心としたマッチング・支援体制(農福連携防府モデル)を構築する。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員以外の福祉事業所のニーズも把握するとよい。 ・農福連携には、事業所で農作業を行う形と農地の現場に行って作業を行う形がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事業所と農業者に対して、実情やニーズを把握するためのアンケートを実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業者は福祉事業所がどんな作業ができるのか分からない。一方、福祉事業所はどのような農作業があるのか知らない。 有効なマッチングのため、双方の作業の様子を動画で見られるようにするとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携サイト(ホームページ)を作成し、情報発信や共有を行う。 【掲載例】 ・農業者、事業所の農作業の写真・動画 ・農業者が委託したい作業、事業所が受託可能な作業のリスト

2 「農福連携防府モデル」アンケート 資料2

○アンケート(案)の確認

福祉事業所向け、農業者向け

○送付先

【福祉】 介護デイサービス事業所、障害就労系・生活介護事業所

【農業】 集落営農法人、認定農業者

○配布方法

【福祉】 メール、FAX等で直接送付

【農業】 郵便等で直接送付(返信用封筒を添付)

○回答方法

【福祉】 メール、FAX、郵送等により、市障害福祉課に提出

【農業】 メール、FAX、郵送等により、市農林水産振興課に提出

3 農福連携防府モデル 資料3

JAを中心としたマッチング体制のイメージ(案)について

【参考】

○農福連携の事例 資料4

・JAを中心としたマッチング体制(長野県松本市)

・農福連携マッチング事例集(栃木県等)

○大分県農福連携情報サイト(ホームページ) 資料5